

# 琉球大学 教授職員会 農学ブロックニュース

2009年10月29日 教授職員会農学ブロック(代議員 本村恵二、中村真也、亀山統一)

## 人勤 給与引き下げ案についてのアンケート結果

農学ブロック・アンケートへのご協力ありがとうございました。10月28日の農学部教授会参加者から40名のご回答をいただきました(組合員22名、非組合員14名、無記入4名)。その全結果は下記のとおりです。

### ◎人勤準拠で給与が引き下げられることをどう考えますか？

生活への影響が： 大きい48% ややある40% ほとんどない13%

給与引き下げを： 中止すべき59% 下げ幅を圧縮すべき31% 人勤通り実施すべき8%

国立大が人勤に準拠するのは： 当然だ8% やむを得ない23% 本来は不当だ68%

この問題で他大学と足並みをそろえるのは： 絶対必要10% 重視すべき41% 参考にはすべき38% 不要10%

### ◎夏のボーナス削減分を授業料免除拡大にあてたのは適切と思いますか？

そう思う0% ややそう思う15% あまりそう思わない40% 全くそう思わない43%

### ◎人勤に準拠して給与を引き下げの場合に代償措置が必要だと思いますか？

不要である8% どちらでもよい22% 必要である69%

### ◎次のような代償措置案についてどう思いますか？

教員の減給分を研究教育費(=運営費)として配分する

そう思う61% ややそう思う13% あまりそう思わない13% 全くそう思わない11%

入試など休日出勤の際に勤務日振替でなく手当を支給する

そう思う61% ややそう思う18% あまりそう思わない11% 全くそう思わない8%

非常勤職員の常勤化など、事務職員の就労環境を改善する

そう思う39% ややそう思う29% あまりそう思わない18% 全くそう思わない11%

学生の授業料免除拡大にあてる

そう思う11% ややそう思う21% あまりそう思わない42% 全くそう思わない16%

学長手持ち経費に回して重点的プロジェクトにあてる

そう思う3% ややそう思う21% あまりそう思わない18% 全くそう思わない45%

**自由な記述** (授業料免除拡大) 学生にとって「ラッキー」な結果では不公平。「出した者勝ち」はナンセンス。▼(授業料免除拡大より)内部からの大学院進学者の入学金免除にあてると大学院生の定員充足にもつながるのでは?▼授業料免除は悪いことでないように見えるが、場当たりの決定で、十分な考慮吟味がなされていない。▼人事院勧告は本来大学に適用されるべきではないので(何のための法人化?)代償措置も本来ナンセンス。▼(代償措置は)公平性と意義(教育効果 etc.)があれば、どう使おうがOK。それが大学当局の力量。

**【若干の分析】** \*教授会会場で配布・回収したため、執行部を含む教授~助教が、組合員も非組合員も多数回答しています。

\*生活への(実際の)影響がない13%、人勤通り実施すべき8%、人勤準拠は当然8%、人勤準拠に代償措置不要8%、

夏のボーナス削減分で授業料免除拡大は適切0%...これは、**役員会の決定や団交での大学当局の主張の核となる部分が、農学部の先生方にほとんど支持されていないことを意味しています。**

\*他大学と足並みをそろえるのが絶対必要10%、給与引き下げを中止すべき59%・下げ幅を圧縮すべき31%...法人化の本旨に基づき、**琉球大学が法令に基づき自分の頭で考えるべきだ**との考えがはっきり読み取れます。

\*代償措置をとるなら、研究教育費に回して、入試等の休日出勤に手当を出して、などの要求が強力です。**事務職員の労働改善の必要も多くの教員が支持しています。**授業料免除への転用や重点配分は多数の支持がありません。なお、「重点プロジェクト」の支持24%の方の中には、同時に重点配分でない「研究教育費(=運営費)として配分」を支持した方が多く、”とにかく研究教育費に還元して欲しい”という考えの反映と考えられます。